

途中何人がかくれていていたずらをするのです。一町程行くと松の木のかけからユ　イが  
出ました。熊さんはビクともしません。また三町程行くとパツと青い火があがりました。熊さん  
は平気で焼場に急ぎました。

墓場に入るときがの熊さんも身の毛がよだつような感じがしました。すっかり燃え切ったワ  
ラの中から本物の青い焰がチヨロチヨロとあがります。臭においがします。熊さんは仏様に合掌する  
のも忘れて急いで棒をさしました。すぐにささるはずなのになかなか棒がささりません。満身の  
力をこめて棒をさしました。

そしてやれやれと思って立ちあがろうとしましたが、着ていたハンテン（上着）を何者かにお  
さえられました。さすがの熊さんもびっくりしてアツと叫んでそこに倒れてしまいました。何か  
いたずらしようと焼場の土手にかくれていた仲間もびっくりして熊さんを起こしましたが、ハン  
テンが誰かにおさえられています。焼場の火ですかしてみると、熊さんはハンテンの上から棒を  
さしたのでした。